

北館大学助利長公と北館神社の略歴

北館大学助利長公の略歴	元 号	西 暦	北 館 神 社 の 略 歴
最上家家臣の父兵部少輔と共に狩川に赴任し館山を居城とする	慶長6年	1601	
10月に君主最上義光に大堰開削の許可願書を提出	慶長16年	1611	
義光は断を下し大学は立谷沢川より導水する大堰を開削 起工三月五日、完工七月二十一日	慶長17年	1612	
最上義光没す(子、家親継ぐ)	慶長19年	1614	
幕命により館山城破却北館大学は狩川囲町の下屋敷に移り住む			
最上家親没す(子、義俊継ぐ)	元和3年	1617	大学、敷地内に水神社を祀る。御祭神は美都波能
最上家(57万石)内紛が生じ所領没収、近江に転風(1万石)	元和8年	1622	
將軍秀忠、庄内14万石を酒井忠勝に賜う	元和8年	1622	
大学の子、助次郎正久、酒井家の家臣となる	寛永元年	1624	
七月二十一日北館大学78歳で没し、見龍寺に葬られる	寛永2年	1625	
	安永7年	1778	狩川八幡宮境内に社殿を建立水神社を移転北館 北館水神社として祀
狩川清川の人々が大学の功績を永遠に伝える為北館君廟碑を建設	文化10年	1813	
	安政4年	1857	北館水神社老朽化し、大堰流域の人々
	明治18年	1885	北館水神社祭典及び修理について大堰郷村総代
	明治21年	1888	北館水神社社殿修理、祭典費の為に木 協議寄付金の割合を定め田地所有者に
	明治26年	1893	北楯大堰普通水利組合発足、神社の維持管理に
	明治44年	1911	狩川村水神社に於いて大堰開削300年
大正天皇御即位の大典に際し大学の功績を嘉賞され位階を追贈、 従五位に叙される	大正4年	1915	
	大正8年	1919	旧城址の楯山に社殿を新築し神社移転
	大正10年	1921	社名を北館水神社から北館神社に改称
	大正12年	1923	郷社に烈格
	昭和28年	1953	宗教法人北館神社認証される
	昭和28年	1953	北館講社の結成
	昭和36年	1961	別表神社に烈格
	昭和36年	1961	海上自衛艦「もがみ」の守護神として分霊
北館大学公銅像建立 除幕式典	昭和48年	1973	現在の笠山へ社殿移転御造営 御遷座
	平成16年	2004	北館神社崇敬会発足
北楯大堰が農水省主催疏水百選に庄内地方で唯一認定される	平成18年	2006	
	平成24年	2012	北楯大堰開削四百年記念祭斉行
北館大堰が山形の宝最上川の文化的資産50選に選定なる	平成25年	2013	
北館大学公生誕470年祭斉行	平成30年	2018	
北楯大堰が世界かんがい施設遺産登録なる	//	//	